

「子宮頸がん検診」・「乳がん検診」・ 「大腸がん検診」の無料クーポン券による 検診の受け忘れはありませんか？



がんは日本人の死因の第1位であり、死亡数は年々増え続けています。

がんによる死亡を防ぐためには、がんにかからないようにすることが重要です。喫煙、食生活、運動などの生活習慣の改善を心がけたとしても、がんにかかるリスクをゼロにすることはできません。

そこで重要となるのが、がん検診です。医学の進歩などにより、がんは現在、約50%の方が治るようになりました。早期に発見し、適切な治療を行うことで、高い確率で治癒します。初期の段階で見つける「がん検診」は、がんの死亡率を下げるのに非常に有効だと考えられます。しかし、日本のがん検診受診率は先進国の中で最低レベルです。いまや年間およそ34万人(死因の3分の1)が、がんで亡くなっています。

あなたにしか守れない大切なからだです。あなた自身のため、あなたの家族のため、一度も検診を受けたことのない方は、ぜひ、この機会に受けてください。

対象者 次の年齢に該当する方は、「がん検診無料クーポン券」が利用できます！

(1) 子宮頸がん検診《女性》

年齢	生年月日
20歳	平成 4年4月2日～平成 5年4月1日
25歳	昭和62年4月2日～昭和63年4月1日
30歳	昭和57年4月2日～昭和58年4月1日
35歳	昭和52年4月2日～昭和53年4月1日
40歳	昭和47年4月2日～昭和48年4月1日

(2) 乳がん検診《女性》

年齢	生年月日
40歳	昭和47年4月2日～昭和48年4月1日
45歳	昭和42年4月2日～昭和43年4月1日
50歳	昭和37年4月2日～昭和38年4月1日
55歳	昭和32年4月2日～昭和33年4月1日
60歳	昭和27年4月2日～昭和28年4月1日

比較的若い世代に多い
「子宮頸がん」「乳がん」

女性特有のがんである「子宮頸がん」「乳がん」は比較的若い世代に多いがんです。ウイルス(ヒトパピローマウイルス)感染が主な原因となる子宮頸がんは、近年20～30歳代で増え、乳がんは、女性ホルモンの影響を受けやすい40歳代の女性で最も多くなっています。

(3) 大腸がん検診

年齢	生年月日
40歳	昭和47年4月2日～昭和48年4月1日
45歳	昭和42年4月2日～昭和43年4月1日
50歳	昭和37年4月2日～昭和38年4月1日
55歳	昭和32年4月2日～昭和33年4月1日
60歳	昭和27年4月2日～昭和28年4月1日

働き盛りの40歳代後半から罹患者数、
死亡者数ともに増加する大腸がん

大腸がんは、年間罹患者数10万人以上、死亡者数4万人以上とわが国に多いがんです。特に、働き盛りの40歳代から罹患者数、死亡者数ともに増加します。

【実施医療機関】 ○印が実施医療機関です。

検診実施医療機関	電話番号	乳腺	子宮	大腸
磯貝医院	☎53-0013			○
岩井内科クリニック	☎54-1019			○
岩月外科内科クリニック	☎53-3458			○
神谷整形外科	☎52-5221			○
近藤医院	☎53-0029			○
泰生医院	☎52-1001			○
高浜愛レディースクリニック	☎54-5161		○	○
つばさクリニック	☎54-5283			○
寺尾内科小児科	☎53-0073			○
中田内科クリニック	☎54-0606			○
吉浜クリニック	☎52-5110			○
刈谷豊田総合病院高浜分院	☎52-8660(予約専用)	○		○

★対象となる方で、次の方は、保健福祉グループへ問い合わせてください。

- ・平成25年4月21日以降に高浜市に転入され、「子宮頸がん検診」「乳がん検診」「大腸がん検診」を希望する場合
- ・「無料クーポン券」が届いていない場合



たかまががん検シスターズ

問合せ先 いきいき広場内保健福祉グループ ☎52-9871